



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

給食集会

1月15日、給食集会を行いました。食べ物や給食を作ってくださる方々に感謝し、好き嫌いせずしっかり食べることを目的に、給食委員会が中心となって運営しました。

子供たちによる、絵本「もうじき たべられるぼく」の読み聞かせがありました。牛の「ぼく」が、運命を受け入れ、食べられる前に、ひと目お母さんに会いに行くというお話です。電車に乗って遠くの空を眺めながら懐かしい故郷の牧場に帰ります。そこで幸せそうに暮らすお母さんを遠くに見つけます。しかし、「ぼく」は、お母さんを悲しませないように、声を掛けずにそのまま帰ってしまいます。そして、「せめてぼくを食べた人が 自分の命を大切にしてくれたらいいな」という言葉を遺します。



食べ物の多くは大切な命をいただいています。残さず、無駄にせず、命をつないでいきたいと思います。

また、栄養教諭の宮島先生もおいでくださり、食べる目的や、給食の歴史、給食調理場ではたらく人々の思いなどをお話ししていただきました。

食べ物を大切にする子供たちに育ってほしいと思います。



子供の目から見た学校の姿

本日、1月16日に令和7年度に入学する児童の保護者説明会を行いました。

保護者説明会では、どんな学校なのか新入生の保護者の方に説明しました。

その際、大人側からの視点だけでなく、子供側の視点からも東部小はどんな学校なのかをお知らせしようと思い、3～6年生の児童にアンケートを取りました。

Q：新しく入学してくる1年生のおうちの人に、東部小を紹介します。

東部小のどんなことを紹介（自慢）しますか？

という問いに対し、子供たちは、次のように答えました。

1位 いろいろな行事がある (45票)

体育大会や修学旅行だけでなく、子供たちが企画する「全校鬼ごっこ」や「秋祭り」を理由として挙げている子が多かったです。また、「自慢大会」もみんなのすごいところが分かり楽しいという意見がありました。

2位 みんな優しい・仲良し (17票)

「学年関係なく遊べる」「困ったときに寄り添ってくれる」「6年生がやさしいです」などの声がありました。確かにみんな仲良しです。

3位 先生が優しい (13票)

理由らしい記述はなかったのですが、たくさんの子が「先生が優しい」ということを書いていました。嬉しいですね。子供たちが優しいから大人も優しくできます。

他にも番外編として、

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------|
| ・トイレがきれい (9票) | ・あいさつをよくする (9票) | ・給食がおいしい (7票) |
| ・きれいな学校 (6票) | ・ボランティアをする (5票) | ・地域の人が優しい (2票) |

等もありました。

東部小ってやっぱり素敵だなと思いました。

大人がめざす学校と子供たちの目に映る学校が、少しでも重なるようにしていきたいと思います。